

その土地で大切にされてきた暮らしの知恵を取り入れ、心身ともに、自分らしい「健やかな美しさ」を考える展覧会。

「Wellness Folklore 土地の知恵から生まれた健やかな美しさ」2023/10/20 (金)-2024/1/28 (日)開催

47都道府県をテーマにしたミュージアム「d47 MUSEUM」では、2023年10月20日(金)より2024年1月28日(日)まで、第33回企画展となる「Wellness Folklore 土地の知恵から生まれた健やかな美しさ」を開催します。その土地の自然や歴史、地域文化や風習などを背景に持つ、日本各地のケアアイテムを展示、販売。石鹸や入浴剤をはじめ、トリートメントオイルや化粧ブラシ、おりんや座蒲といった道具まで、身の回りのケアアイテムを、その土地で大切にされてきた暮らしの知恵を学び、取り入れながら使うことで、心身ともに、自分らしい「健やかな美しさ」を考える展覧会です。

「ウェルネス」とは、身体的・精神的・そして社会的に健康で安心な状態であること※。近年、この概念は、医療や美容、フィットネスはもちろん、ツーリズムや不動産、会社経営、ペットサービスなどの分野まで、世界的に需要が広がり続けています。そして、パンデミックによる価値観の変化を経て、個人毎の価値観と多様性の受容が叫ばれる今、「ウェルネス」や「ウェルビーイング」がさまざまなシーンにおいて注目され、肉体的な健康のみならず、自分自身の心や、社会との繋がりまでを含めた「健やかさ」が増す増す重要視されています。また、コスメ・ケア業界では、SDGsへの関心の高まりを背景に、外見の「美しさ」だけでなく、人や環境への安全性や、生産背景の透明性を求める「クリーンビューティー」の考えが活発化するなど、各社が生活者の多様なニーズに向き合いながら試行錯誤を重ね、循環型社会へ向けた先進的な取り組みも生まれています。

本展では、D&DEPARTMENTが長くつづいているものをデザインの視点で見つめ直す「ロングライフデザイン」の活動を通じて学んできた、「土地に根付く健やかさを」軸に据え、「ウェルネス」に「フォークロア(民間伝承)」の観点を加え、その土地ならではの営みから生まれたケアアイテムを30組選定しました。会場内では、出展品や関連アイテムのほか、本展の公式書籍も販売します。本書には展示内容に加え、デジタル・ウェルビーイングの観点から、テクノロジーや人間と自然存在の関係性を研究する情報学研究者のドミニク・チェン氏や、独自の発酵技術で未利用資源を活用し、再生・循環させる研究開発型スタートアップ「ファーマンステーション」代表の酒井里奈氏の、循環やウェルビーイングをテーマにしたインタビューを収録します。会期中には、出展者を講師に招き、ワークショップや勉強会、トークイベントなどの関連企画も開催し、さまざまな切り口から、自分らしい「健やかな美しさ」を考える機会をつくっていきます。

※Global wellness Instituteによる定義

名称：Wellness Folklore 土地の知恵から生まれた健やかな美しさ

会期：2023年10月20日(金)～2024年1月28日(日)

※年末年始を除き会期中無休

時間：12:00～20:00(入場は閉館30分前まで)

会場：d47 MUSEUM(読み：ディ ヨンナナ ミュージアム)

東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階

入場料：ドネーション形式(会場受付)

主催：D&DEPARTMENT PROJECT

特別協賛：渋谷ヒカリエ Creative Space 8/

特別協力：富山県総合デザインセンター

問合せ：03-6427-2301(d47)

URL：https://www.d-department.com/item/DD_EVENT_48317.html

※ミュージアムの最終入場は19:30ですが、館内ショップは以降もご来店可能です。営業終了は20:00です。

※年末年始の営業時間はSNSでお知らせいたします。



d47 MUSEUM webサイト

本企画に関する画像素材は <https://shorturl.at/ajzT4>よりダウンロードできます。

— 本件に関するお問い合わせ — D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 03-6427-2301 / pr@d-department.jp

● 選定基準

- 1、その土地の資源や技術を活用している
- 2、その土地の風習や習慣、暮らしの知恵をルーツに持っている
- 3、「健やかな美しさ」を感じられる、理念やデザインがある

● 出展者一覧：商品名、都道府県名 | メーカー/ブランド名

赤丸薄荷シリーズ	北海道 りんねしゃ	LinNe	京都 南條工房
Cul de Sac-JAPON	青森 カルデサック	turalist	大阪 プラス
奥州サボン	岩手 ファーメンステーション	awaji ENCENS	兵庫 兵庫県線香協同組合
明日 わたしは柿の木にのぼる	福島 陽と人	jiwajiwa	奈良 チアフル
野州麻炭Lab	栃木 GUE TRADING	棕櫚ボディたわし	和歌山 中西富一工房
上州絹屋	群馬 ミヤマ全織	SHAQUDA	広島 瑞穂
花椿	東京 資生堂	木頭柚子 ゆず湯	徳島 きとうむら
YOSHIDA YASURI	新潟 吉田ヤスリ製作所	レトア	香川 東洋オーリーブ
ZAF	富山 サカエ金襴	yaetoco	愛媛 無茶々園
アミノリセ	石川 福光屋	umaji	高知 馬路村農業協同組合
コモエース	福井 セーレン	シャボン玉石けん	福岡 シャボン玉本舗
華密恋	長野 SouGo	お塩のめぐみ	佐賀 ロイス
AUGER	岐阜 貝印	KIMIWA	熊本 肌美和
moto	愛知 もと	HAA for bath	大分 HAA
本草湯	三重 ヴィソン多気	SAKURAJIMA TSUBAKI	鹿児島 桜島ミュージアム



Cul de Sac-JAPON
青森 カルデサック



奥州サボン
岩手 ファーメンステーション



明日 わたしは柿の木にのぼる
福島 陽と人



上州絹屋
群馬 ミヤマ全織



野州麻炭Lab
栃木 GUE TRADING



花椿
東京 資生堂



LinNe
京都 南條工房



turalist
大阪 プラス



yaetoco
愛媛 無茶々園



HAA for bath
大分 HAA

● 関連企画

会期中、出展者などによるトークショーやワークショップを開催するほか、毎週木曜日は、週替わりで出展者をゲストに迎えるインスタライブも配信します。「発酵」「農業」「エコロジカル」などさまざまなテーマで、出展品を彼らの活動と合わせてご紹介します。

<開催が決定しているトークイベント>

日時：2023年12月17日（日） 場所：COURT（渋谷ヒカリエ8F）

「ウェルビーイング」や「発酵と健やかな美しさ」をテーマにしたトークショーと、出展者による座談会を開催します。

登壇者：梅澤義典（福光屋）／小倉ヒラク（発酵デザイナー）／酒井里奈（ファーメンステーション）／

ドミニク・チェン（情報学研究者）／渡邊康太郎（Takram） 以上50音順・敬称略

関連企画の詳細は随時webサイトやSNSで追加、公開していきます。

● D&DEPARTMENT PROJECT（ディアンドデパートメントプロジェクト）

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。国内外に14店舗（北海道店、福島店、埼玉店、東京店、東京d47、富山店、愛知店、三重店、京都店、鹿児島店、沖縄店、韓国ソウル店、韓国チェジュ店、中国黄山店）を展開。47都道府県に1か所ずつ拠点をつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしていきます。2012年、渋谷ヒカリエ8階に47都道府県の魅力を展示する日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して、47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開しています。<https://www.d-department.com/>

<参考資料>

● ウェルネスの定義

- ・ 「wellness as the active pursuit of activities, choices and lifestyles that lead to a state of holistic health」
(2015年 | Global wellness Institute)
ウェルネスとは、身体的・精神的・そして社会的に健康で安心な状態であることと定義し、少なくとも以下6つ
Physical / Mental / Emotional / Spiritual / Social / Environmental の側面から多元的にとらえるものだとしています。
- ・ 「身体健康、精神健康、環境健康、社会的健康を基盤にして、豊かな人生をデザインしていく、自己実現」
(2017年 | 琉球大学 荒川雅志氏)

参考

Global wellness Institute Webサイト

<https://globalwellnessinstitute.org/what-is-wellness/>

国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部 ウェルネス研究分野 Webサイト

<https://health-tourism.skr.u-ryukyu.ac.jp/wellness/>

● ウェルネス市場

各産業において、技術革新をはじめ価値観や人口構成の変化などからさまざまな変革が続き、10年、20年後に既存の市場が存続するかどうか試されていく時代の中で、D4DR Future Perspective Research Centerが、日経BPから2022年2月に刊行した書籍『消費トレンド2040市場予測』では、2030～2040年に存在すると予想される象徴的な15の新たな消費市場を定義し、各市場の将来を予測。15の項目のうち一つ目に「ウェルネス市場」が取り上げられたことから、その注目度の高さや可能性への期待が表れます。メディカルやヘルスケアといった従来の健康に関する概念に加え、社会的・環境的健康を基盤に、輝く生き方をデザインしていくウェルネスにおける消費活動は、個人の心身の状態を可視化・学習し、状態の最適化を行うサービスの市場として、有望消費市場と評価されました。そして、日本におけるウェルネス市場の規模は、2030年に約89.6兆円、2040年には、近年の食品業界規模に匹敵する、約86.4兆円となると推計されています。

参考

日経クロストrend

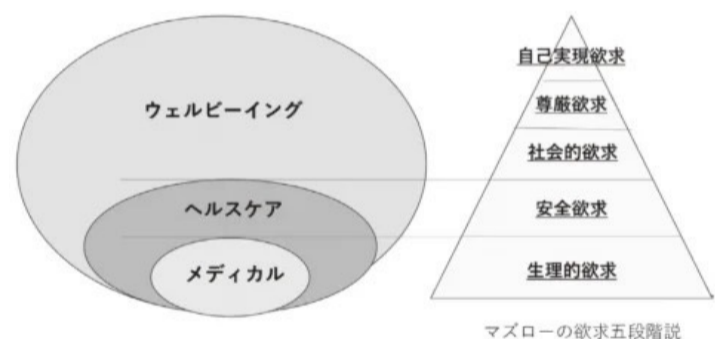
「新たな有望消費市場の1つ、「ウェルネス市場」の2040年を見通す」

(2022.3.10公開)

<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/watch/00013/01766/>

出所

D4DR webサイト

<https://www.d4dr.jp/topics/mirai/trend2040/>

<ウェルネス市場の構造図>

● 日本国内における「ウェルビーイング」

- ・ 「身体的、精神的、社会的に満たされている広い意味の幸福・多面的な幸せ」を表すウェルビーイング。厚生労働省では「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」と定義しています。
- ・ 日本政府が2021年度に発表した「成長戦略実行計画」において、「国民がWell-beingを実感できる社会の実現」と言及。2021年7月には「Well-beingに関する関係省庁連絡会議」が設置され、ウェルビーイングに関する取組の推進に向けて情報共有、連携強化、優良事例の横展開がはかられています。
- ・ 大阪府が2018年に発表した「2025日本万国博覧会 基本構想案」において、万博のテーマ提案の中で「世界中の人々がよりよく生きる (well-being) ための提案を集め、新たなモデルとして広く世界に発信」と言及。ウェルビーイングの考えに基づき、2025年開催予定の大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」となりました。

参考

厚生労働省「雇用政策研究会報告書概要」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/000532354.pdf>

内閣府Webサイト

<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/index.html>

大阪府Webサイト

https://www.pref.osaka.lg.jp/bampaku_suishin/2025expo/index.html